

巨乳搾精メイドの 異常な健康管理



～搾り取られた僕の精液は、
地下室で飼われる
スライム娘たちの餌でした。～



ありがとうございます。
いやー、本当に
助かります。



こんな立派な
お屋敷に泊めて
頂けるなんて。



ひどい嵐の中、
見知らぬ山中で
夜を過ごさないと
いけないところでした。





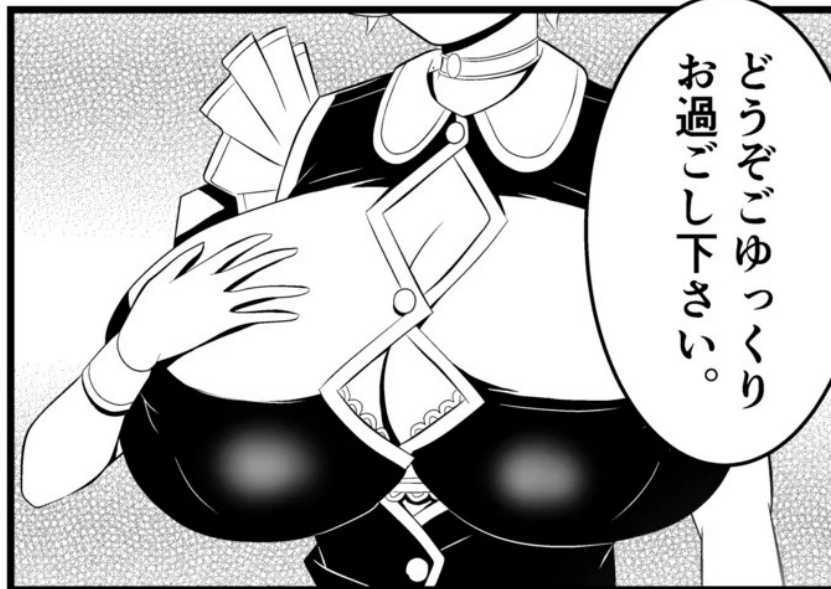
お気になさらずに。
この館の主(あるじ)の
意向ですの。

主は不在ですが、
迷い込んだ旅人は
丁重に持て成せと。



うわ、すごく大きい
胸だな…。

服が破れそうだ…。



どうぞごめっくり
お過ごし下さい。



いいえ…
何でもないです。



どうかしましたか。
何か気になることでも？

……



精液を
採取させて
頂きます。

！

ギョッ



では、
お泊りして
頂く前に、

病気等に
感染して
いないかどうか、

カッ
カッ



あなたの体液を
調べます。

え……？
体液？



……ん？
すでに少し勃起
していますね。

ああちよつと待って、
あつ、あつ、あつ



はい、
動かないで
ください。

シ/コシ/コ



検査ですので。
我慢しないで下さい。



ん、
早速硬くなって
きました。

これなら
すぐ出そうですね。

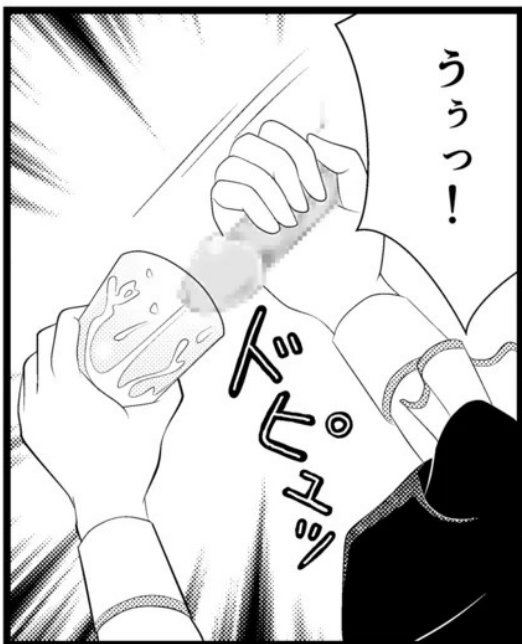


どうぞ遠慮なく
射精してください。

イッてください。
はい、イッて。



あっ、出るっ、



ううっ！

ト
ト
ト



次の日





ん……
もう朝か……



キュッキュツ

しかし良く寝たな。
昨日は疲れてた
からなあ。



うわあ、お尻も
大きい……。
目が離せない……。



朝から
窓ふきか。

スカート
めくれちゃって……。
パンツ見えてるよ。

……気づいて
ないのかな。



あっ。

どうされましたか？

私のお尻を見て
発情されたの
ですか。

ではまた精液の
採取をさせて
頂きましょう。

ズボンを下ろして
ペニスを
握って下さい。

さあ、どうぞ。

はあ
はあ

遠慮なく見て頂いて
結構ですよ。

この格好で
よろしいですか？

はあ、はあ、はあ、

ニコニコニコ
ニコニコニコ







こんな身体をした
女の人、
見たこと無いな……

胸もお尻も
大きすぎる……

わあ、乳首が
透けてる……



胸、大きい
なあ……



あんな大きな胸が
入る下着が
あるんだ……



何か私に
御用ですか？

……
どうか
されましたか。

ゴサッ

ゴサッ



あ、
マズい……

凄く勃起
しちゃう……



まさか私の着替えを
覗いていたとか…。
そんなことは
ございませぬよね？

どうなのですか？



黙っていてもはわかりませぬよ。
はっきり言って
くださいます。



あ、あ…



はい？
聞こえませぬよ。

ハロッ





はい、イって。

ううっ！

ドドド



何を言っているのです。

これは覗きの罰ですよ。さっさとイって下さい。

シロシロシロ

ひゅー



随分たくさん出ましたね。

覗きで

興奮したからでしょうか？

ううう...



根元から絞りますね。

全部出し切って下さい。

ギョッ

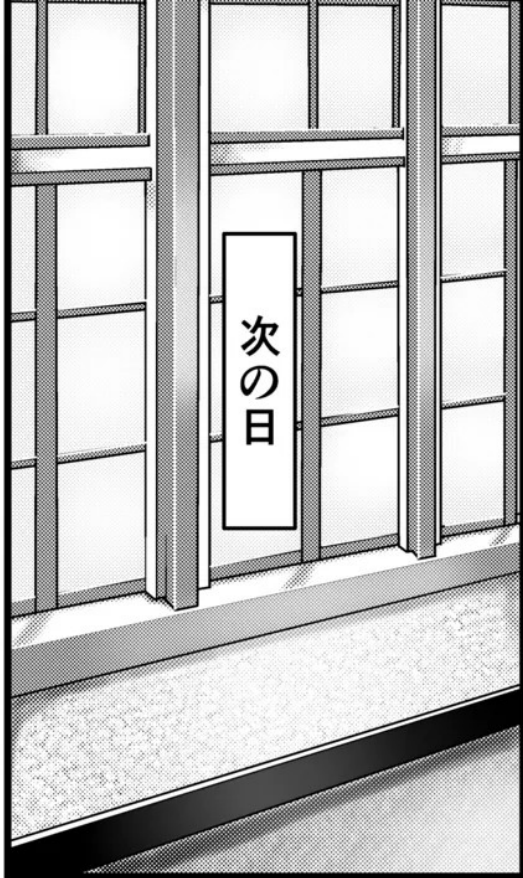
あひいっ...



こんな広い屋敷を一人で掃除してるのか…。

…今日は廊下の掃除か。

サッ
サッ



次の日



あ、
メイドさん…



そんなに
見せつけられると…

ああ、パンツまで
見える…



谷間が強調される…

屈むと胸の谷間が…

ユッザ
ユッザ







恥ずかしいことでは
ありませんよ。
男の方は皆そうです。

ピクピク



素直に
おっしゃってください。
大きい胸が
好きなんでしょう？

スッ...



ま、待って。

そ、
そんな大きい胸で
挟まれたら...



それではあなたが
好きなこの胸で、

精子を絞りだして
差し上げましょう。

ググッ



ほあああああ……

ヌチャ
ヌチャ

まずは胸の間で
こね回してあげましょう。



失礼します。

ひっ！

ブブブ



あっ、あっ、あっ

お加減は
いかがですか？

ズリッ
ズリッ



次はこうして
胸の中に
ペニスを入れて
しごきますね。

ブルン
ブルン



もうイク…
イク。

ハア
ハア

ああ無理…
もう…



また精液を
容器に取るので
すぐイかないで
くださいな。

バ
チュッ
バ
チュッ



うっ、はあ、ああ。

ジュッ
ジュッ

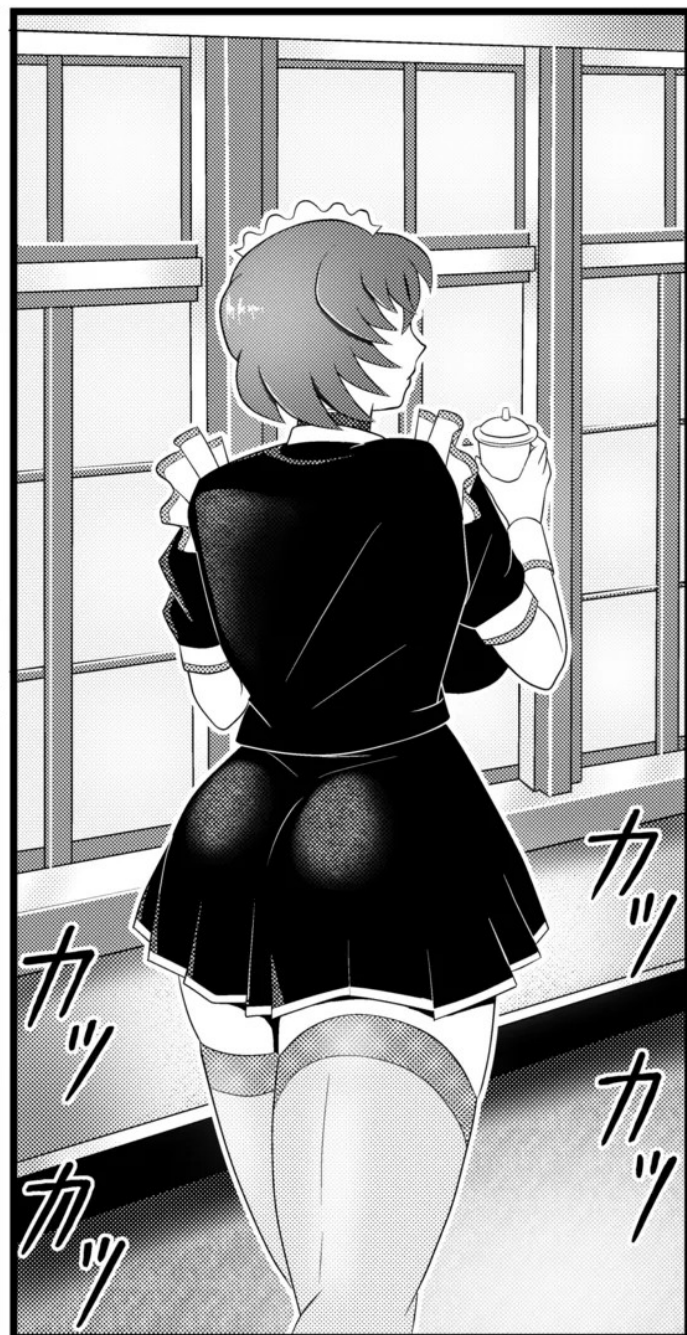


あ！こらっ、
まだ我慢して。

駄目です。
射精、止めて下さい。

キ
コ
メ







僕の
精液だ……

パカッ

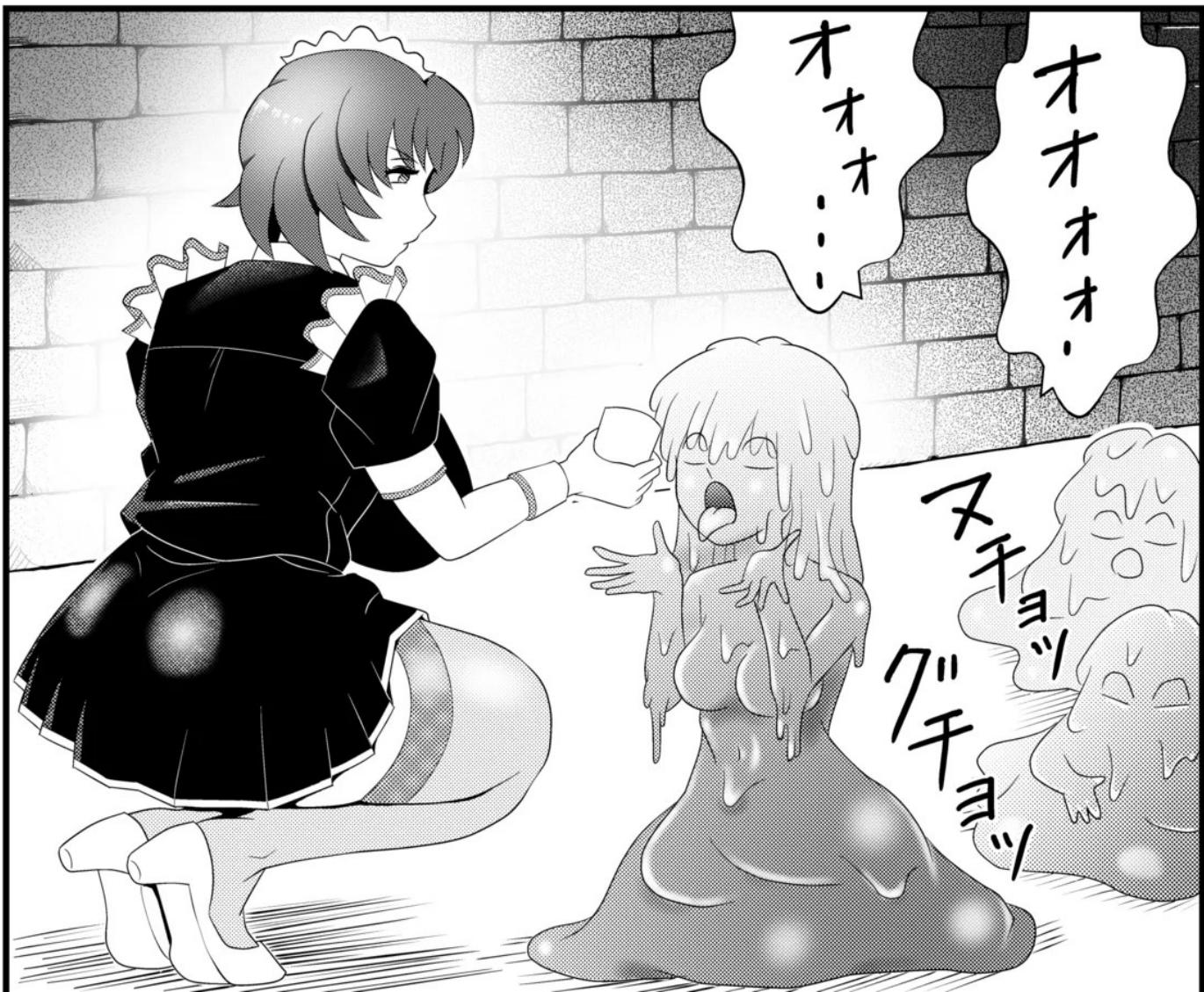


下に階段が伸びている。
地下室があったのか……



何だ
あれは……

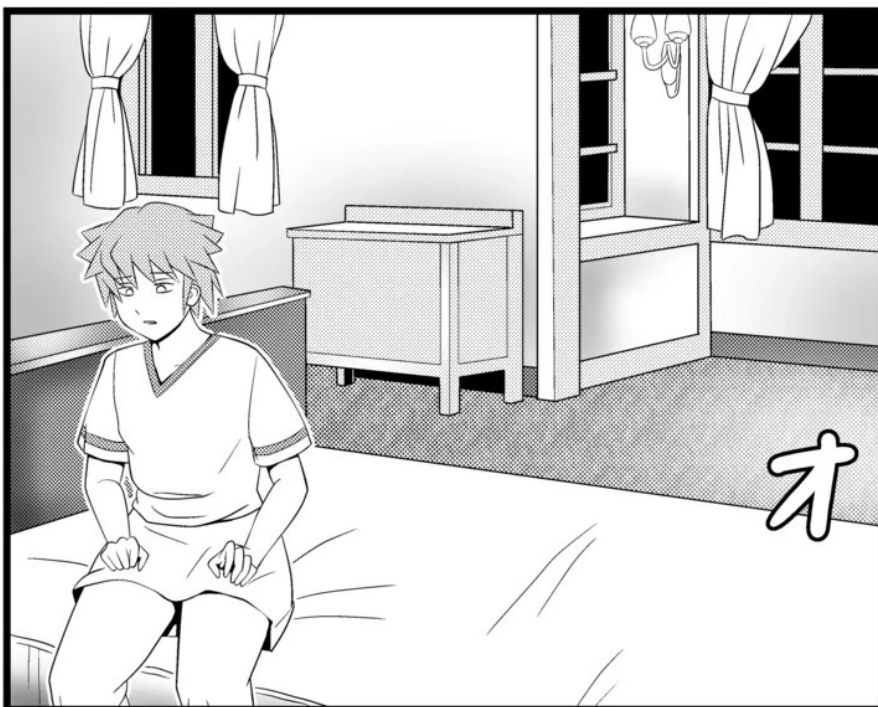
……?
……?

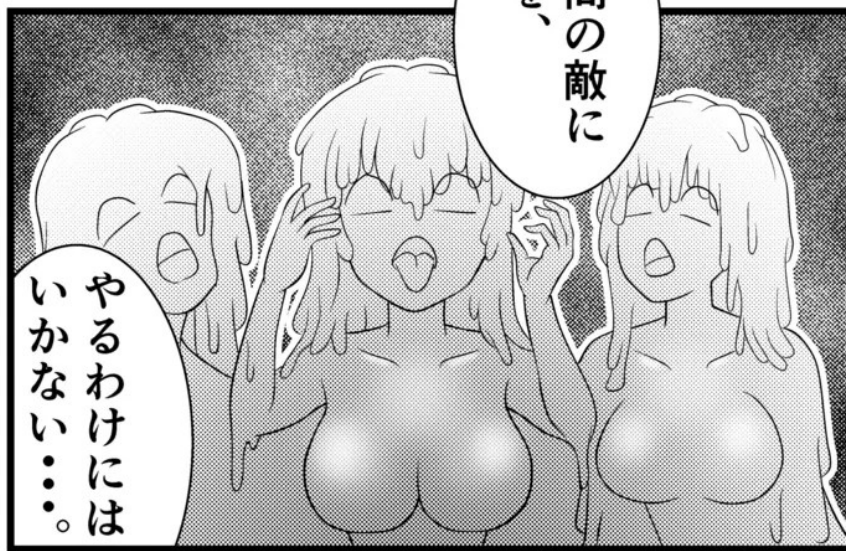


オオオ……

オオオオ……

フキョッ
グキョッ







あなたにはもっと
気持ちの良い
想いをして頂いて、

この館から
離れられなくして
差し上げましょう。



いけませんね。
また覗き見ですか。

あの子たちには
あなたの栄養が
必要なのです。
ご協力ください。



初めてなのでしょうか？
……入れますよ。



さあ、
じっとして。

私に身を
預けて下さいな。



あなたは
ただ楽しめば
いいのですよ。

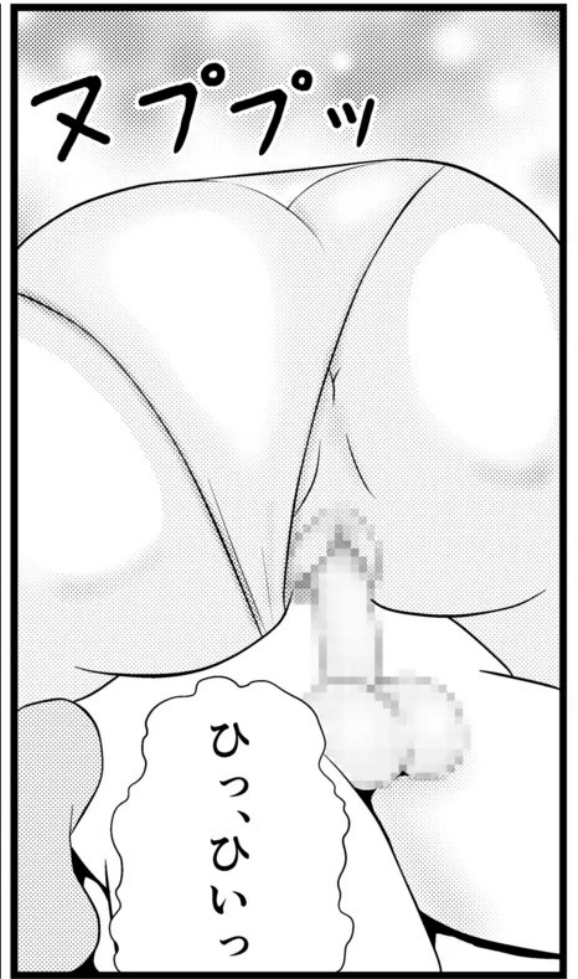
は、わあああ……



あ、またすぐイって。
何をやっているのです。

まだ入れたばかりですよ？

ドピュッ



ヌププッ

ひっ、ひっ



次はもっと我慢
するのですよ？
いいですね？

ひい……



ううう、
ああ……

ごん、
ごめんなさい……



まったく。
どれだけ早漏
なのですか。

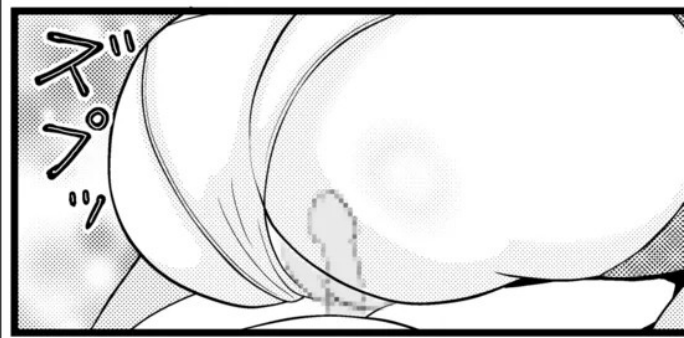
情けないお方。



まるで少女のような悲鳴をあげてしまつて。

さあ、どれだけ気持ちいいか声で私にお伝えください。

ズボッズボッ



ズブッ



ひゃあああ！



二回目なのにもう出したのですか……。

我慢して下さいと申し上げましたよね？



うらうらー！バズバズ

あー！バズ



ドブッ

またいくう！

ひゅー！



あなたがイっても
止めませんから、
覚悟してください。

ま、待って……



我慢してと
言っても無駄な
様ですね。



気を確かに持って。

頑張ってくださいませ。





チンポ抜かずに
このまま腰を
打ちつけて、

イけるところまで
イってもらいます。



ああ、また
出るう！



イき
ましたね。

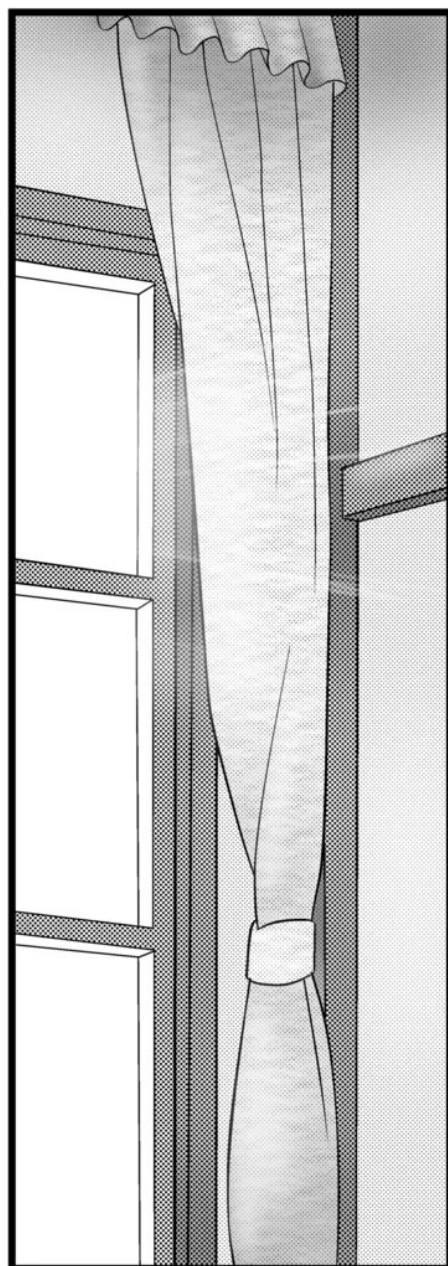
でも
止めませんよ。

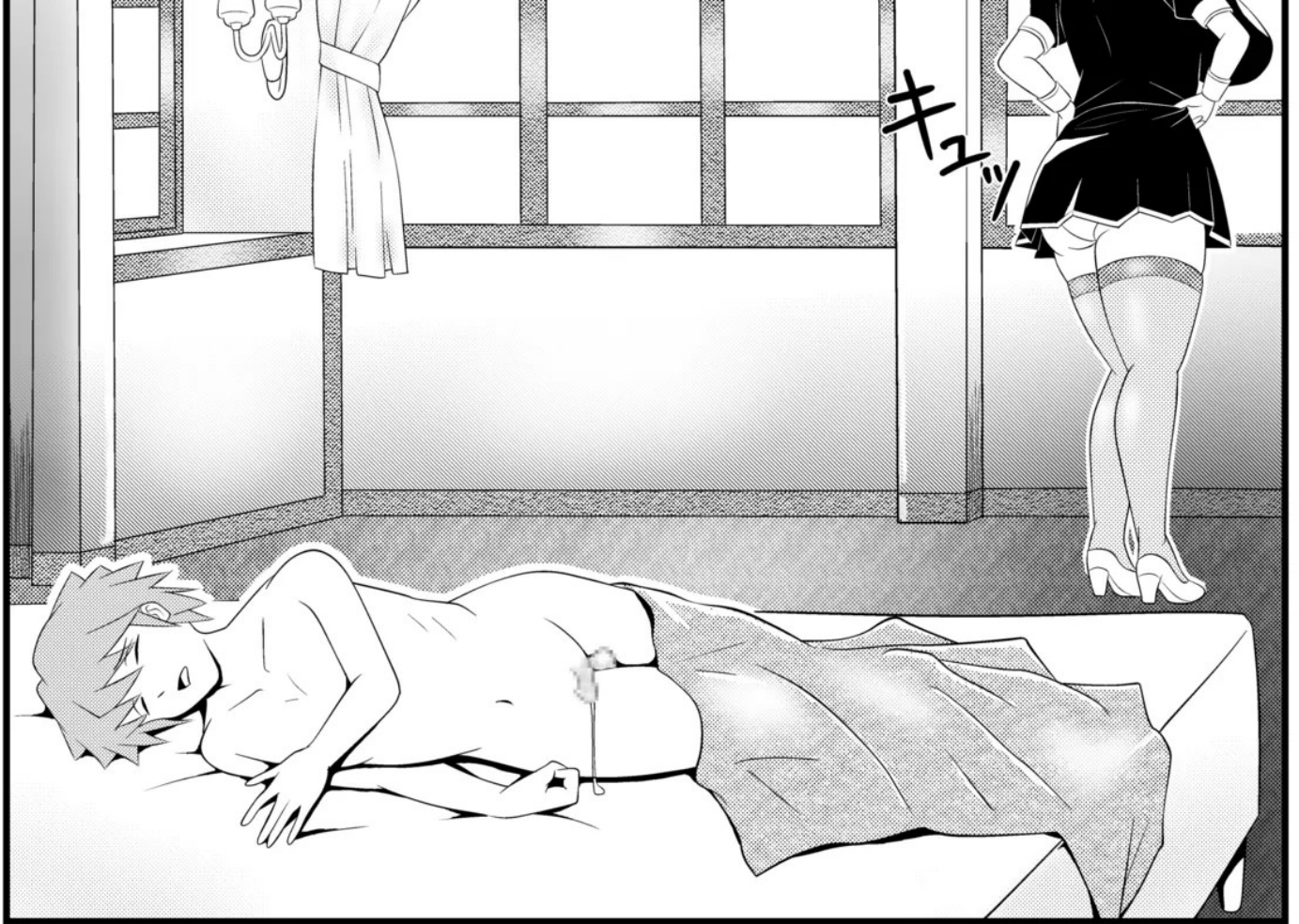


ひいっ、お願い、
もう無理、ひい。

無理じゃ
ありません。
もっとペニスを
固くして。

パン
パン
パン
パン





今はゆっくり
お休み下さい。

あなたの
ペニス、
まだまだ
使わせて
頂きます。



お疲れ様
でした。

少々手荒に
やり過ぎたこと、

ユッサ
ユッサ

お詫び
申し上げます。



これも何かの
ご縁。

どうか末永く
この館に
ご滞在下さい。

私も、地下の
あの子達も
歓迎致しますよ。

End